

# 令和元年度 事業報告書

平成31年4月 1日から

令和 2年3月31日まで

学校法人マリア学院

## 1. 法人の概要

名 称 学校法人マリア学園（昭和63年4月8日法人設立）  
代表者 理事長 若林 公代  
住 所 大阪府高槻市野見町2番15号  
電 話 072-675-1278  
FAX 072-675-1258

### 設置する学校

1. 住 所 大阪府高槻市野見町2番15号  
名 称 高槻マリア・インマクラダ幼稚園
2. 住 所 岡山県倉敷市北畝2丁目17番37号  
名 称 倉敷マリア・インマクラダ幼稚園
3. 住 所 千葉県市原市辰巳台西3丁目11番3号  
名 称 市原マリア・インマクラダ幼稚園

役 員 理事 6名 監事 2名

評議員 13名

理事会 6回開催

評議員会 6回開催

教職員 43名（高槻マリア・インマクラダ幼稚園）

（含.非常勤） 29名（倉敷マリア・インマクラダ幼稚園）

30名（市原マリア・インマクラダ幼稚園）

## 2. 事業概要

### 《教育理念》

神が子どもたちに望んでおられることを達成し、子ども自身が自分の能力を自分自身で成長させることができるように、全教育共同体と一致して、知性の源を育む。知性とは、感謝の心・自分で考える力・自己肯定・共感力・あきらめない心などを指し、卒園後の生涯に亘って自ら行動する力となる。

### 《教育方針》

教育理念の達成に向けて、次の3つの教育方針で臨む。

- ① 神様とまわりの人たちから愛されていることに気づく(宗教教育)
- ② 幼稚園生活の経験を通して自分自身が好きになる(モンテッソーリ教育)  
3~6歳の縦割り保育とモンテッソーリの自由選択活動
- ③ 集団生活の出会いと関わりを通して、神様とまわりの人を大切にする(平和教育)

( 高槻マリア・インマクラダ幼稚園)

### 《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			4	90	3	95	3	95	10	280
30年度		16		78		95		74	8	263
元年度		19		68		77		94	8	258
2年度		24		78		73		77	8	252

《保育時間》

月～金曜日 午前8時30分～午後2時（但し、水曜日は午後11時45分まで）  
土曜日 休園

《納付金》

保育料 3歳児 年額324,000円（12分割均等納付）

4・5歳児 年額300,000円（12分割均等納付）

施設費 年額 20,000円

冷暖房費 年額 5,000円

バス維持費 年額 5,000円

バス利用料 6コース 月額 4,000円

給食費 実施せず（4回弁当持参）

《入園時の費用》

入園料 120,000円

検定料 5,000円

《預かり保育の内容及び費用》

・月～金曜日 午前8時～保育開始時、保育終了後～午後7時

午前8時～保育開始時 200円/日

午後保育終了後～ 800～ 1,000円/日

午前保育終了後～ 1,100～ 1,300円/日

月極 15,000～18,000円/月

・夏冬春休み中の預かり保育（年末年始・お盆を除く）

長期休業日 1,500～ 1,800円/日

18,000～22,000円/月

《行事実施状況》

入園歓迎会、運動会、参観日、七夕、盆おどり、プールあそび、おとまり保育、消防署見学、おいもほり、おいもパーティー、マリア・フェスタ、七五三、クリスマス会、キャンドルサービス、おもちつき、節分、ひかりのこコンサート、スポーツフェスティバル、お別れ遠足、お別れパーティー、感謝の祭儀、卒園式、卒園児の集い（小学生のお仕事、中・高・大学生の集いなど）

《施設関係》

園地面積 1,391.2㎡ 運動場面積 960㎡

園庭人工芝整備

《設備関係》

トイレ換気扇取替、雲梯、テーブル購入  
 跳び箱廃棄

《借入金関係》

なし

《その他修繕等》

各室修理、ピアノ調律、複合遊具安全バー取付、講堂・ベランダ・屋上防水工事、  
 ブロック塀改修、室外機配管工事等

( 倉敷マリア・インマクラダ幼稚園 )

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員										200
30年度		12		40		36		26		114
元年度		21		39		39		37		136
2年度		17		43		39		36		135

《保育時間》

月～金曜日

① 午前8時30分～午後1時35分

② 午前8時55分～午後2時

土曜日 休園

《納付金》

保育料 3・4歳児 年額261,600円(12分割均等納付)

5歳児 年額249,600円(12分割均等納付)

教材費 年額 4,000円

冷暖房費 年額 7,000円

給食費 月額 1,700円

バス維持費 年額 5,500円

バス利用料 月額 3,500円

《入園時の費用》

入園料 30,000円

検定料 3,000円

《預かり保育の内容及び費用》

・月～金曜日

午前7時～保育開始時 200円/時

保育終了後～午後6時 150円/時・9,000円/月

午後6時～午後7時 200円/時

- ・夏冬春休み中の預かり保育（年末年始・お盆を除く）

午前7時30分～午前8時30分	250円/時
午前8時30分～午後6時	1,500円/日
午前8時30分～午後1時30分	750円/日
午後1時～午後6時	750円/日
午後6時～午後7時	250円/時

《行事実施状況》

入園式、交通安全教室、キンダーフェスティバル、体操教室参観、お泊り保育（年長）、運動会、火災避難訓練、体操教室参観、マリアまつり、七五三祝福式、クリスマスお祝い会、おもちつき、体操教室参観、茶道参観（年長）、お別れ遠足（年長）、お別れパーティー、卒園式、母親の集い、誕生日会（各クラス）

《施設関係》

園地面積 630.80㎡ 運動場面積 651.67㎡

三段鉄棒廃棄

《設備関係》

ロッカー、テーブル、チェア、冷暖エアコン購入

《借入金関係》

園舎改築のため、(宗)汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会から借入したものを一部返済した。

《その他修繕等》

ピアノ調律料、門扉改修及び鉄棒撤去工事、引き違い錠解錠、本棚キャスター取付、トイレ詰まり、プリンター修理等

（市原マリア・インマクラダ幼稚園）

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員										
30年度		15		39		50		57	6	161
元年度		20		48		40		51	6	159
2年度		20		43		50		40	6	153

《保育時間》

月～金曜日

Aコース 午前8時30分～午後2時15分  
（但し、水曜日は午前10時45分まで）

Bコース 午前9時30分～午後3時15分  
（但し、水曜日は午前11時45分まで）

土曜日 休園

#### 《納付金》

保育料	年額	300,000円	(12分割均等納付)
施設費	年額	20,000円	
給食費	月額	2,052円	
給食食器代	年額	1,000円	
絵本代	月額	年長・年中435円	・ 年少495円
バス維持費	年額	5,000円	
バス利用料	月額	4,100円	

#### 《入園時の費用》

入園料	80,000円
検定料	3,000円

#### 《預かり保育の内容及び費用》

- ・月～金曜日

午前7時30分～保育開始時・保育終了後～午後6時30分

100円/時・1,000円/月

- ・夏冬春休み中の預かり保育（年末年始・お盆を除く）

午前7時30分～午後6時30分 100円/時

#### 《行事实施状況》

入園式、親子ピクニック、マリア祭、年長遠足、運動会、お泊り保育（年長）、火災避難訓練、お芋掘り遠足、フェスティバル、七五三祝福式、クリスマスお祝い会、おもちゃつき、豆まき、人形劇、ひな祭り音楽会、卒園遠足（年長）、卒園式、母親の集い、誕生日会

#### 《施設関係》

園地面積 1685.02㎡ 運動場面積 729.72㎡

正門裏門電子錠・電子錠入管理システム工事

掲示板廃棄

#### 《設備関係》

幼児用机、パソコン、外壁掛用時計購入

園児用机、電波時計、焚き火用容器、臼・杵廃棄

#### 《借入金関係》

本館塗装修繕工事のため、千葉興業銀行から借入したものを約定返済した。

通園バス・車庫その他の構築物取得、事務室の建築及び運転資金のため、(宗)汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会から借入したものを一部返済した。

#### 《その他修繕等》

ピアノ調律代、ミシン点検、ブロック塀改修工事、本館2階引き戸修理、棚引き戸設置、テレビ配線改修等

#### 《事業報告》

令和元年度の事業は、園児数を前年度と比べると、高槻マリア・インマクラダ幼

稚園で5名減少、倉敷マリア・インマクラダ幼稚園で22名増加、市原マリア・インマクラダ幼稚園で2名減少となったが、保護者の協力を得て役職員の真摯な努力により、着実に事業を運営することができた。

令和元年10月より幼児教育の無償化がスタートしたが、特に大きな混乱もなく移行することができた。

令和2年2月29日、安倍首相は、新型コロナウイルス感染抑制のため、3月2日から全国すべての小・中・高・特別支援校の臨時休業を発表した。また、4月7日、緊急事態宣言を7都府県に発出し、4月17日には全国に拡大、5月6日まで感染抑制のため、学校の臨時休業が要請された。更に、医療機関が崩壊しないよう、感染数の推移から、5月4日に休業期限が5月末まで延長された。一方、経済・社会活動の再開について、知事の判断でそれぞれ進められることになり、緊急事態宣言は25日にすべて解除された。これを受けて、高槻マリア・インマクラダ幼稚園と市原マリア・インマクラダ幼稚園は3月2日から5月末まで、倉敷マリア・インマクラダ幼稚園も4月21日から5月20日まで休園を余儀なくされた。

そして、教育現場の再開の方策と合わせて、9月からの新学期が同時に検討されることになり、この先、予断を許さない状況が続くが、当園としては、保育再開後、感染防止に努めながら、如何に園児がスムーズに過ごせるか受け入れ態勢の整備を進めると共に、保護者と連携しながら準備を怠らないようにする。

以上のことを踏まえ、当園としては、幼児教育の無償化への理解を深め、事業継続を語るため、地域の乳幼児数の推移及び教職員採用計画を改めて練り直し、5年後の事業予想（中期事業計画）を作成し、リスク管理体制を整備する。合わせて、監督官庁の調査に、しっかりと対応出来るよう、事務組織を見直し、事務管理体制の確立に努める。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定することとした。

財務状況については、高槻マリア・インマクラダ幼稚園では、事業活動収支計算書での教育活動収入計が163,033千円（前年度164,302千円）、教育活動支出計が167,984千円（前年度162,281千円）となり、教育活動収支差額▲4,950千円（前年度2,020千円）、経常収支差額比率▲3.03%（前年度1.20%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、69.28%（前年度67.98%）となった。

倉敷マリア・インマクラダ幼稚園では、事業活動収支計算書での教育活動収入計が89,123千円（前年度72,390千円）、教育活動支出計が68,711千円（前年度65,882千円）となり、教育活動収支差額20,411千円（前年度6,508千円）、経常収支差額比率22.90%（前年度8.99%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、40.3

9%（前年度48.87%）となった。

市原マリア・インマクラダ幼稚園では、事業活動収支計算書での教育活動収入計が114,400千円（前年度107,099千円）、教育活動支出計が118,112千円（前年度120,437千円）となり、教育活動収支差額▲3,712千円（前年度▲13,338千円）、経常収支差額比率▲3.32%（前年度▲12.5%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、63.82%（前年度57.15%）となった。

学園全体では、経常収支差額が6,487千円（前年度▲16,944千円）となった。

資金繰りについては、翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

### 3. 財務状況

別紙参照